


現在の横浜銀行を形づくった前身銀行の系譜



1. 前身となった銀行のみを記載。他行が継承した銀行・廃業した銀行は、銀行数には含めるが系譜は記載していない。
 2. ▶は、整理委託・受託による銀行継承を示す。
 3. 横浜興信銀行との合同は、昭和7年(1932年)の関東興信銀行との合併以外は、営業譲渡による合同。
 4. 他行に継承後、清算手続きのため解散まで数年存続していた銀行もあるが、実質的な営業は終了していたため、他行への継承までの記載にとどめた。
 5. 県内銀行数の集計は、普通銀行と貯蓄銀行およびその前身の銀行類似会社についておこない、特殊銀行・無尽会社は除外した。

また、本表においては、町田銀行は県内銀行としてカウントした。

横浜興信銀行
設立・開業

横浜の3大銀行の合同実現
横浜を代表する銀行となる

関東興信銀行と合併
初めて湘南方面・小田原まで
店舗網拡充

六行合併
普通銀行は一県一行となる
県央地区などの店舗網・人員
大幅拡充

貯蓄銀行を含め
一県一行となる